

道徳

単元名 「気持ちのよいあいさつ」
指導時数 1時間扱い

ねらい 人とかわりあうための大事なあいさつをしようとする気持ちを育てる。

2 - (1) 礼儀

幼稚園・保育所で経験してきたこと

- ・朝や帰りのあいさつ、食事のときのあいさつはもちろん、「ありがとう。」や「ごめんなさい。」なども言えるように働きかけられている。
- ・「ありがとう。」は、言えたときに褒めることによって言えることが増えてくるが、「ごめんなさい。」は、難しい。気持ちを大切に、「相手は、どんな気持ちかな?」「なんて言えばいいのかな?」などと話し、「ごめんなさい。」が言えるように導かれてきた。
- ・人とかわる上で、必要な言葉を遊びの中で使えるように、いろいろな場面を意図的に設定して、自分から言えるように導かれている。
- ・幼稚園・保育所では、大事なことは言葉だけでなく、視覚でとらえられるような工夫をしている。



接続を踏まえた指導の工夫

- ・幼稚園・保育所でやってきたことを振り返り、小学校でも同じようにすればよいことを知らせて安心感をもたせる。その上で、1年生になったからもう少し頑張りたい、という思いを引き出していく。
- ・どんな場面で、どんなふうには言えばよいか、絵で示すと集中させやすい。
- ・指人形を使ったり、ペープサートや役割演技などを取り入れたりすると理解を深めることができる。
- ・新しい友達と仲良くするために、「入れて。」や「いいよ。」などの言葉も気持ちよく言えることの大切さを押さえる。

学習活動例

時間	活動内容	○配慮事項 ☆他教科との関連	道徳 1 【5日目】 ★幼児教育との関連
1	<p>1 知っているあいさつを発表する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・いってきます。 ・いただきます。 ・さようなら。 ・ごちそうさまでした。 ・おはようございます。 ・おやすみなさい。 ・ただいま。 <p>2 資料「あかるいあいさつ」を見て、話し合う。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・どんなあいさつをして、どんな気持ちになるのかな。 「ありがとう」を言う場面 「ごめんね」を言う場面 ・一緒に遊びたいとき、どうすればよいかを考える。 <p>3 教員の話聞く。「ごめんね。」と言われて、許してあげた経験を話す。</p>	<p>○おはよう、さようならなど、基本的なあいさつを思い出すようにする。</p> <p>★資料は、拡大したりペープサートにしたりして、動かして、一つずつ状況を説明していくと分かりやすい。</p>	<p>○「ありがとう」「ごめんね」は、人とかわるのに大事な言葉であることを押さえる。</p> <p>★役割演技をすると、気持ちを考えやすい。</p> <p>★教科書の例だけでなく、友達といっしょに遊びたい時の「入れて。」「いいよ。」など、人とかわっていくのに必要な言葉も付け加える。</p> <p>○あいさつをするといい気持ちになったり、人間関係がよくなったりすることに気付くようにする。</p>

【資料】学研多摩版 「みんなのどうとく」

(平成19年度日野市教育委員会作成資料 引用)

道徳

単元名 「みんなで まもろう」
 指導時数 1時間扱い

ねらい 決まりを守り、安全な生活を送れるようにしようとする心情を高める。

4 - (1) 公德心・規則尊重

幼稚園・保育所で経験してきたこと

・入園して間もなくから、幼稚園や保育所にも様々なルールや決まりがあり、ルールや約束に気付くような指導が行われている。

- ・上履きと外履きの区別 ・遊具の遊び方
- ・お弁当や給食の時間 ・鬼ごっこのルール
- ・片付ける時間や場所 ・交通のルールなど

・ルールや決まりをどうして守る必要があるのか考えられるようにし、それらを守ろうとする意識(規範意識)を育てている。
 ・我慢したり、気持ちを切り替えたり、相手を思いやったり、ルールを守る気持ちよさを感じさせたりして、そうした力をはぐくんでいる。



接続を踏まえた指導の工夫

- ・幼稚園・保育所でやってきたことを振り返り、小学校でも同じようにすればよいことを知らせて安心感をもたせる。
- ・言葉だけでなく、実際にやってみることによって理解が深まる。
- ・小学校生活6年間の始まり。最初が肝心。一つ一つ、丁寧に押さえていく。
- ・日常生活の中でも、繰り返しどうしなけばいけないのかを考える場を設けていく。

学習活動例

道徳 2 【6日目】

時間	活動内容	○配慮事項 ☆他教科との関連 ★幼児教育との関連
1	1 身の回りにある決まりの発表をする。 ・ランドセルの片付け方 ・道路や廊下の歩き方 ・遊具の使い方 2 資料「みんなでまもろう」を見て、話し合う。 ・危ない子は、だれかな。 ・どんな決まりがあるかな。 3 水道やボール、ブランコ、傘立てなどの使い方確かめ、決まりがなかったらどうなるかを考える。 ・学校の中、校庭など自分の学校の決まりを守って、いろいろと回ってみるのもよい。	★幼稚園や保育所での生活を思い出させる。 ○知っていることを全部発表させるのではなく、幼稚園や保育所でも決まりがあったことを思い出すことがねらいである。 ○資料は、拡大して、黒板に掲示し、危ない子が見付かったら、みんなで確認する。 ○学校生活における決まり（学校の中・校庭・学校の外）を確認する。 ★提示用に拡大した挿絵を用意し、一つずつ提示して話し合うと集中しやすくなる。 ☆生活科「がっこうだいすき」の校舎めぐりの時の廊下の歩き方、固定遊具の使い方などに関連させる。

【資料】 光文書院 東京都版「ゆたかなこころ」